

令和6年2月5日

報道機関各位

熊本大学

## 一般公開セミナー

### ひとり・がたりー公害の記憶と記録の交差点からー

日本の「公害」には、現在に語られる環境危機の先例が満ちています。高度成長期には全国の産業地帯で環境問題が露わになり、その被害の記憶と記録物が今も各地に残ります。この会では、公害事件を写し残すさまざまな痕跡を振り返り、今の我々が向き合う社会的課題にそれらをどう生かせるのか、参加者各々の「かたり」を通して考えてみます。

2月16日（金）は、研究者が登壇し、公害記録の研究活用を考えるワークショップを行います。写真家・豊田有希氏によるトークも予定しています。

メインイベントとなる2月17日（土）は、ゲスト講師・金澤敏子氏（1951年生 富山県在住）による「ひとりがたり」講演を行います。金澤氏は北日本放送アナウンサーを経て、テレビ・ラジオのドキュメンタリーを40本あまり制作され、近年はイタイイタイ病訴訟で原告患者の筆頭になった小松みよ氏の生涯を「ひとりがたり」として伝えています。本講演では富山弁をまじえ、患者の苦しみ、悲しみ、怒り、イタイイタイ病と闘い続けた小松みよ氏の66年の人生を紹介します。水俣病資料館語り部の杉本肇氏とのトークセッションもごさいます。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、取材方、よろしく願いいたします。

## 記

- 【日時】 令和6年2月16日（金）15:00～18:30/ 2月17日（土）13:30～16:20
- 【場所】 熊本大学黒髪北地区 文法棟1階 A3教室（熊本市中央区黒髪2丁目40番1号）
- 【対象】 一般の方（興味がある方はどなたでも）
- 【参加費】 無料、予約不要
- 【企画者】 全体司会：洞ヶ瀬真人（福山大学人間文化学部メディア・映像学科准教授）
- 【共催】 科学研究費補助金事業 基盤研究（A）22H00036「21世紀における他者の痛みの交差性」  
代表：慶田勝彦（熊本大学）/ 基盤研究（B）22H00613「環境汚染と映像の詩学」、若手研究19K12989「水俣病の「記録」と映像表現」代表：洞ヶ瀬真人（福山大学）
- 【協力】 熊本大学文書館、熊本大学キャンパスミュージアム推進室、  
熊本大学大学院人文学部国際人文社会科学センター学際領域

※詳しくは別紙チラシまたは文書館ホームページをご覧ください。

[http://archives.kumamoto-u.ac.jp/info/info\\_20240216.html](http://archives.kumamoto-u.ac.jp/info/info_20240216.html)

### 【お問い合わせ先】

熊本大学文書館 担当：香室・古田

TEL：096-342-3951 FAX：096-342-3952

Email:archives@jimu.kumamotou.ac.jp

# ひとり、がたり

日本の「公害」には、

現在に語られる環境危機の先例が満ちています。

高度成長期には全国の産業地帯で環境問題が露わになり、

その被害の記憶と記録物が今も各地に残ります。

この会では、公害事件を写し残すさまざまな痕跡

を振り返り、今の我々が向き合う社会的課題に

それらをどう生かせるのか考えてみたいと思います。



公害の記録と記憶の交差点から

2024.

2.16(金)

15:00～(開場 14:30)

・公害記録を用いた研究ワークショップ  
・ゲストトーク 写真家 豊田有希さん

2.17(土)

13:30～(開場 13:00)

・金澤敏子さん講演会「ひとり、がたり」  
・トークセッション ゲスト 杉本肇さん

会場 熊本大学 文法棟1階 A3 教室

●両日共に参加無料●予約不要/一般公開

■企画者・全体司会:洞ヶ瀬真人(福山大学人間文化学部メディア・映像学科准教授)

■共催:科学研究費補助金事業 基盤研究(A)22H00036「21世紀における他者の痛みの交差性」(研究代表者:慶田勝彦)、

基盤研究(B)22H00613「環境汚染と映像の詩学」(研究代表者:洞ヶ瀬真人)、若手研究19K12989「水俣病の「記録」と映像表現」(研究代表者:洞ヶ瀬真人)

協力:熊本大学文書館、熊本大学キャンパスミュージアム推進室、熊本大学大学院人学系国際人文社会科学センター学際領域



Itai-itai

# イタイイタイ病について

四大公害病の1つ。

明治の終わり頃から、岐阜県にある神岡鉱山の三井金属神岡鉱業所からの排水に含まれるカドミウムによって汚染された飲み水や米を通じ、富山県の神通川流域の住民が被害を受けた。主として年配の女性に多く発生し、重金属のカドミウムが体内に蓄積すると腎臓障害を起こし、骨が軟化し折れやすくなる。患者が「痛い、痛い」と激痛を訴えたことからその名がつけられた。2022年、患者認定制度による201人目の患者が確認された。



## ゲスト講師:金澤敏子さん

1951年生まれ。富山県入善町在住。  
北日本放送アナウンサーを経て、テレビ・ラジオのドキュメンタリーを40本あまり制作。  
絵本『みよさんのたたかいとねがい』などイタイイタイ病をはじめ、米騒動、泊・横浜事件に関する著書多数。  
近年は、イタイイタイ病訴訟で原告患者の筆頭になった小松みよさんの苦難に満ちた生涯を「ひとりごたり」として伝えている。本講演では富山弁をまじえ、患者の苦しみ、悲しみ、怒り、イタイイタイ病と闘い続けた小松みよさんの66年の人生を紹介する。

16日(金)・研究ワークショップ  
・ゲストトーク

開場 14:30

### ●15:00~17:30 研究ワークショップ

- 林緑子 (名古屋大学) 「公害映像と動物倫理」
- 澤茂仁 (中部大学) 「公害映像と「科学映画」」
- 加島正浩 (富山高等専門学校) 「岩倉政治とイタイイタイ病」
- 洞ヶ瀬真人 (福山大学) 「公害ドキュメンタリーと漁民」
- 香室結美 (熊本大学) 「熊大文書館を拠点とした水俣病関係資料のアーカイヴィング」

### ●17:30~18:00 ゲストトーク

- 豊田有希 (写真家) 「写真における表現と記録のインターセクション」

### ●18:00~18:30 フロアQ&A

17日(土)・「ひとりごたり」  
・トークセッション

開場 13:00

### ●13:30 開会挨拶

慶田勝彦 (熊本大学人文社会科学部)

### ●13:35~15:00 講演「ひとりごたり」

講師 金澤敏子

### ●15:10~15:55 トークセッション

応答/コメンテーター  
杉本肇 (水俣病資料館 語り部)

### ●15:55~16:20 フロアQ&A



## ゲスト:豊田有希さん

1987年生まれ。熊本市出身。  
2015年より水俣市在住。  
高校時代から独学で写真を始め、2012年から本格的な活動を開始。主な作品は、山間集落の暮らしと水俣病の痕跡を辿った「あめつちのことづて」(2016-)。



## ゲスト:杉本肇さん

1961年生まれ。水俣市出身。漁師。  
水俣市立水俣病資料館「語り部の会」副会長。  
トリオ・コミックバンド「やうちブラザーズ」のリーダーも務め、水俣病の悲しみや痛みと「笑い」の共存を、全身全霊で表現している。



### ■会場詳細■

## 熊本大学 文法棟1階 A3教室

(黒髪北地区キャンパス) 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号

大学構内の駐車場は有料です、公共交通機関のご利用をご協力お願いします。

### ■問い合わせ先■

## 熊本大学文書館

TEL.096-342-3951 Email: archives@jimu.kumamoto-u.ac.jp

本イベントに関する電話でのお問い合わせは、2月16日(金)14時までお願いいたします。